

2007年度中間決算説明会



東洋紡
代表取締役社長
坂元龍三

目次

I

2007年度中間期決算概況

II

通期業績予想

III

今後の課題

I . 2007年度中間期決算概況

(1) 決算概要

- 上期：第1Qの出遅れが響き、第2Qで挽回するも前年比減益
- 下期予想：第2Qからスペシャルティ事業の増勢持続で計画通り
繊維の事業構造改革も着実に実行

(億円)

【営業利益】

	06年度					07年度				
			上期	下期	通期			上期 実績	下期 予想	通期 予想
	1Q	2Q				1Q	2Q			
スペシャルティ (前年同期比)	67	66	132	136	268	55 (△ 12)	71 (+6)	126 (△ 6)	143 (+7)	269 (+1)
繊維・その他 (前年同期比)	10	25	35	33	69	13 (+2)	19 (△ 6)	31 (△ 4)	25 (△ 8)	57 (△ 12)
消去・全社	△ 7	△ 9	△ 15	△ 17	△ 32	△ 8	△ 10	△ 18	△ 17	△ 35
計 (前年同期比)	71	82	152	152	304	59 (△ 12)	80 (△ 2)	139 (△ 13)	151 (△ 1)	290 (△ 14)

(2) 業績

(億円)

	06中間期実績	07中間期実績	増 減		当初計画
			金額	%	
売上高	2,135	2,134	△ 0	△0.0%	2,150
営業利益	152	139*	△13	△8.6%	155
営業利益率 (%)	(7.1%)	(6.5%)	—	—	(7.2%)
経常利益	128	115	△14	△10.6%	130
当期純利益	63	55	△ 8	△12.6%	65
EPS (円)	9.1	7.9	△1.2	△13.0%	
減価償却費	83	92	+9	+11.1%	
研究開発費	51	55	+4	+7.0%	
設備投資	74	92	+18	+24.2%	
EBITDA	235	231	△ 4	△1.7%	

為替レート(円/US\$)

115

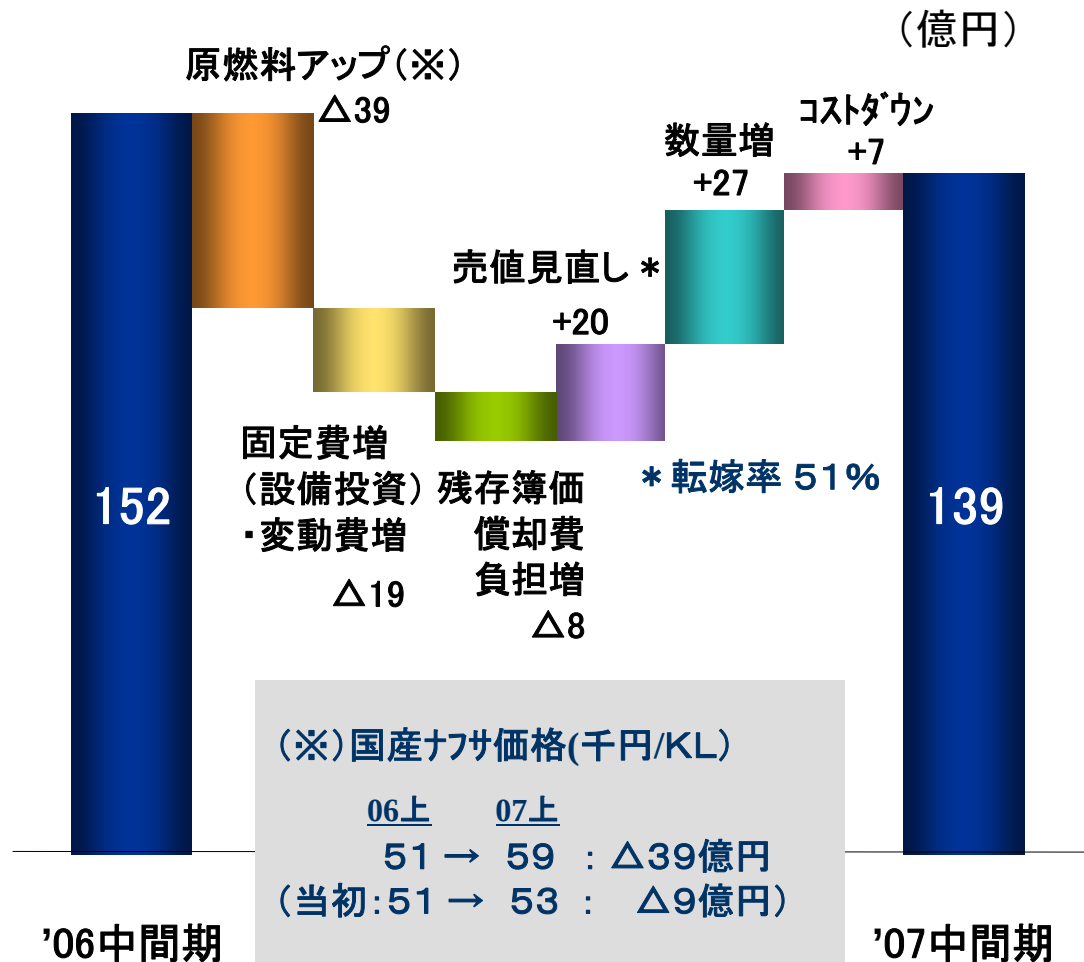
119

*うち残存簿価償却費負担増 (△8)



(3) 営業利益増減要因分析

【06中間期→07中間期】



(4) 財務指標

財務体質は着実に改善、有利子負債減少

(億円)

	07/3末 実績	07/9末 実績	増減	06/9末 実績
総資産 (営業利益 ROA)	5,132 (5.9%)	5,097 (5.5%)	△35 —	5,231 (5.8%)
自己資本 (自己資本比率)	1,335 (26.0%)	1,357 (26.6%)	+21 (+0.6%)	1,261 (24.1%)
有利子負債	1,942	1,934	△ 9	2,120
D / Eレシオ	1.45	1.43	△0.02	1.68

(5) セグメント別

(億円)

	06中間期実績		07中間期実績		増 減		計画
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	営業利益
フィルム・機能樹脂	620	78	656	73	+36	△5	80
産業マテリアル	357	29	373	27	+16	△2	32
ライフサイエンス	153	25	163	26	+10	+1	32
スペシャルティ計	1,130	132	1,192	126	+62	△6	144
衣料繊維	779	24	724	20	△55	△5	18
その他	226	11	219	12	△8	+1	10
消去・全社	—	△15	—	△18	—	△3	△17
合 計	2,135	152	2,134	139*	△0	△13	155

*うち残存簿価償却費負担増 (△8 :うちスペシャルティ△6)

① フィルム・機能樹脂

第2Qから液晶・光学用フィルムが急回復、
増益に転じる。価格転嫁下期から実現

(億円)

	06中間期 実績	07中間期実績			増減
		1Q	2Q	計	%
売上高	620	314	342	656	+5.8%
営業利益	78	33	40	73*	△6.7%
(営業利益率)	(12.6%)	(10.4%)	(11.8%)	(11.1%)	—
減価償却費	32	—	—	34	+7.9%
使用総資本	1,302	—	—	1,281	△1.6%
(営業利益ROA)	(12.0%)	—	—	(11.4%)	—

● 工業用フィルム

液晶・光学用が2Qから急回復

● 包装用フィルム

価格転嫁遅れる、下期から本格化

● 機能樹脂

バイロンが伸び悩む
エンプラは自動車向けで拡大

* うち残存簿価償却費負担増 (△3)

② 産業マテリアル

原料高でタイヤコードなど苦戦するも、
環境関連の溶剤回収装置・フィルターは順調に拡大

(億円)

	06中間期 実績	07中間期実績			増減
		1Q	2Q	計	%
売上高	357	183	190	373	+4.5%
営業利益	29	12	15	27*	△7.2%
(営業利益率)	(8.2%)	(6.7%)	(7.8%)	(7.3%)	—
減価償却費	16	—	—	18	+14.3%
使用総資本	812	—	—	803	△1.1%
(営業利益ROA)	(7.2%)	—	—	(6.8%)	—

● **機能フィルター・不織布**
液晶関連の溶剤回収装置が好調
自動車関連の出荷堅調

● **エアバッグ用基布**
需要堅調で拡大続くも原料高の
影響あり

● **スーパー繊維「ダイニーマ」**
需要拡大も、供給力不足で足踏み
増設待ち(08.1月稼動予定)

* うち残存簿価償却費負担増 (△2)

③ ライフサイエンス

人工腎臓用中空糸膜は回復傾向
診断薬酵素、アクア膜などの出荷堅調

(億円)

	06中間期 実績	07中間期実績			増減
		1Q	2Q	計	%
売上高	153	78	85	163	+ 6.6%
営業利益	25	10	16	26 *	+ 3.8%
(営業利益率)	(16.3%)	(12.7%)	(18.9%)	(15.9%)	—
減価償却費	11	—	—	14	+ 24.9%
使用総資本	348	—	—	361	+ 3.8%
(営業利益ROA)	(14.4%)	—	—	(14.4%)	—

● 人工腎臓用中空糸膜
新タイプの出荷本格化

● バイオ
血糖値測定用酵素は堅調
診断システムは新製品投入

● アクア膜
ラービグ向け出荷完了
交換膜および中東向け案件受注

* うち残存簿価償却費負担増 (△1)

④ 衣料繊維

構造改革は計画どおり進捗、使用資本着実に圧縮

(億円)

	06中間期 実績	07中間期実績			増 減
		1Q	2Q	計	%
売上高	779	342	382	724	△7.0%
営業利益	24	9	11	20*	△19.2%
(営業利益率)	(3.1%)	(2.5%)	(2.9%)	(2.7%)	—
減価償却費	14	—	—	15	+7.3%
使用総資本	1,390	—	—	1,310	△5.8%
(営業利益ROA)	(3.5%)	—	—	(3.0%)	—

● 繊維マスタープラン

着実に実行(本体・関係会社)
資産効率重視の経営徹底

● 衣料テキスタイル

中東向け特化衣料が好調持続

● 衣料ファイバー

汎用衣料用途など更に圧縮

● アクリル繊維

価格転嫁進め、利益確保

* うち残存簿価償却費負担増 (△1)

Ⅱ. 通期業績予想

(1) 2007年度業績予想

(億円)

当初計画

下 通期

2,200 4,350

150 305

(6.8%) (7.0%)

125 255

70 135

	06年度実績			07年度予想			通期増減		
	上	下	通期	上	下	通期	%	下	通期
売上高	2,135	2,132	4,267	2,134	2,166	4,300	+0.8%		
営業利益	152	152	304	139	151	290 *	△4.7%		
営業利益率 (%)	(7.1%)	(7.1%)	(7.1%)	(6.5%)	(7.0%)	(6.7%)	—		
経常利益	128	125	253	115	125	240	△5.3%		
当期純利益	63	71	135	55	70	125	△7.2%		
EPS (円)	9.1	10.0	19.3	7.9	10.0	17.9	—		

減価償却費	83	87	169	92	100	192	+13.4%
研究開発費	51	53	104	55	53	108	+3.6%
設備投資	74	84	158	92	145	237	+50.4%
EBITDA	235	238	474	231	251	482	+1.7%

為替レート(円/US\$)

115

119

115

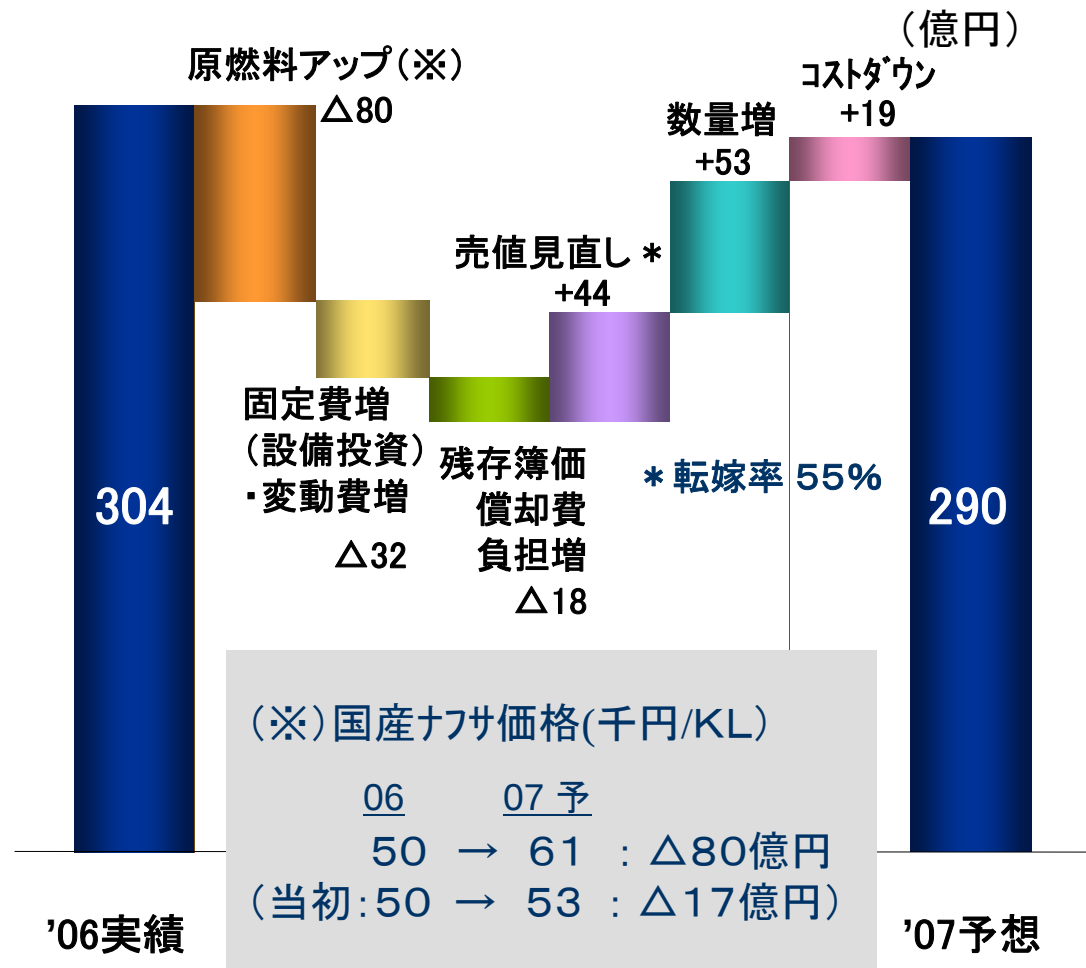
117

* うち残存簿価償却費負担増(△18)



(2) 営業利益増減要因

【06実績→07予想】



(3) セグメント別

		(億円)						
		06年度実績		07年度予想		増 減		当初計画
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	営業利益
	フィルム・機能樹脂	1,246	153	1,339	150	+93	△3	162
	産業マテリアル	744	59	769	61	+25	+2	61
	ライフサイエンス	326	56	352	58	+26	+2	62
	スペシャルティ計	2,316	268	2,460	269	+144	+1	285
	衣料繊維	1,496	44	1,401	36	△95	△7	37
	その他	454	25	439	20	△15	△4	19
	消去・全社		△32		△35	—	△3	△ 36
	合 計	4,267	304	4,300	290 *	+33	△14	305

* 残存簿価償却費負担増 (△18)

Ⅲ. 今後の課題

(1) 現状認識

スペシャルティ事業の成長足踏み

- 一部主力事業の伸び不足
- 価格転嫁力の低下
- 成長市場・海外での拡大遅れ

【営業利益】

(億円)

	04年度	05年度	06年度	07年度 計画	07年度 予想	差異
フィルム・機能樹脂	137	149	153	162	150	△12
産業マテリアル	50	58	59	61	61	±0
ライフサイエンス	48	56	56	62	58	△4
スペシャルティ 計	236	263	268	285	269	△16

(2)課題

資源集中による拡大加速

■ 強い事業へのさらなる積極投資

- ✓ フィルム・機能樹脂が成長ドライバー
- ✓ 開発資源のシフト

■ 海外売上の拡大

- ✓ 販売・生産拠点強化（アライアンスを含む）

■ 独自技術を用いた新事業創出（オンリーワン）

- ✓ 「電子・情報表示」、「自動車」、「環境」にフォーカス
- ✓ 高耐熱ポリイミド系フィルム“XENOMAX(ゼノマックス)”

訴訟関連情報

(1) ザイロン訴訟状況

<概要>

- ① 2003年6月、ザイロン繊維使用の防弾ベスト事故(米国ペンシルバニア)(貫通事故は1件のみ)
- ② 事故被害者、同種ベスト購入者等が、防弾ベストメーカー、当社に損害賠償請求を提起
- ③ 防弾ベストメーカーの元取締役が米国不正請求禁止法に基づく訴訟を提起、
米国政府(司法省)がこの訴訟に原告として参加
- ④ 事故を起こしたメーカー以外の防弾ベストに関しても、米国政府(司法省)が訴訟を提起
- ⑤ 購入者からの集団訴訟は 原告団との和解成立(和解金等(約44億円)05上特損処理)
事故被害者からの訴訟(PL関連訴訟)も、和解により解決
- ⑥ 弁護士費用 15億円(06年度)、15億円(05年度)

<訴訟状況>

(07.11.7 現在)

	クラスアクション	PL関連	政府関係		その他	政府関係
原告	購入者	ペンシルバニアほか 警官	アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ドイツ2州政府
状況	和解成立 (05/10/26)	和解成立 (06/1、06/11、07/1)	訴状受取後 動きナシ	証拠開示手続	修正訴状提出 証拠開示手続	却下判決 (管轄なし) (07/4/13)
件数	10件	4件	1件	2件	1件	1件

…前回(07年5月)より進捗有り

補足資料

補-1) 時系列データ

連結決算業績推移

				04年度			05年度			06年度			07年度		
				実績	実績	対前期 増減率	実績	対前期 増減率	うち上期実績	通期計画	対前期 増減率	うち上期実績			
売上高	百万円			393,686	401,948	+2.1%	426,666	+6.1%	213,476	430,000	+0.8%	213,433			
営業利益	百万円			28,782	29,887	+3.8%	30,435	+1.8%	15,243	29,000	▲4.7%	13,932			
(営業利益率)				(7.3%)	(7.4%)		(7.1%)		(7.1%)	(6.7%)		(6.5%)			
経常利益	百万円			21,589	24,580	+13.9%	25,342	+3.1%	12,831	24,000	▲5.3%	11,476			
(経常利益率)				(5.5%)	(6.1%)		(5.9%)		(6.0%)	(5.6%)		(5.4%)			
当期純利益	百万円			12,207	12,596	+3.2%	13,472	+7.0%	6,347	12,500	▲7.2%	5,546			
(当期純利益率)				(3.1%)	(3.1%)		(3.2%)		(3.0%)	(2.9%)		(2.6%)			
1株当たり当期純利益				円	17.58	18.10	+3.0%	19.32	+6.7%		17.91	▲7.3%			
自己資本当期純利益率					11.5%	10.8%		10.4%							
総資産営業利益率					5.6%	5.8%		5.9%	5.8%				5.5%		
総資産				百万円	511,813	514,791	+0.6%	513,191	▲0.3%	523,080			509,652		
自己資本				百万円	107,518	125,143	+16.4%	133,521	+6.7%	126,117			135,660		
(少数株主持分を除く)															
自己資本比率					21.0%	24.3%		26.0%		24.1%			26.6%		
1株当たり純資産				円	154.64	179.59	+16.1%	191.28	+6.5%	181.00					
有利子負債				百万円	220,981	206,172	▲6.7%	194,239	▲5.8%	211,975			193,366		
D / E レシオ				倍	2.06	1.65		1.45		1.68			1.43		
設備投資額				百万円	16,395	18,131	+10.6%	15,753	▲13.1%	7,400	23,700	+50.4%	9,188		
減価償却費				百万円	15,528	15,656	+0.8%	16,938	+8.2%	8,283	19,200	+13.4%	9,203		
研究開発費				百万円	9,201	10,079	+9.5%	10,426	+3.4%	5,101	10,800	+3.6%	5,459		
従業員数				人	11,468	11,705		11,755		11,547			11,640		

補-2) スペシャルティ事業の拡大

■ 主な設備投資

事業	投資金額 (億円)	投資内容・能力	稼働時期
液晶光学用PETフィルム	100	+10,000トン/年	2008年春
光学用無延伸PPフィルム	20	+4,000トン/年	2008年夏
ダイニーマ (日本ダイニーマ)	16	+600トン/年 (現行能力比1.6倍)	2008年初
工業用フィルム	—	能力増強、新商品	2009年以降
エンジニアリングプラスチック その他機能樹脂	— —	米・欧・中 拠点強化 重合・コンパウンド	2007-8年 2009年
次世代電子材料	—	事業化・量産化	2010年

その他:エアバッグ用基布、スーパー繊維、アクア膜

補-3) 新事業創設を狙う分野

セグメント／事業		市場	自動車	電子・ 情報表示	環 境	生活 安全	ライフ サイエンス
フィルム・ 機能樹脂	機能フィルム			液晶光学用PET 工業用CPP		食品包装用	
	機能樹脂		エンブラ	工業用接着剤	PET新触媒		
	次世代電子材料			高耐熱 ポリイミド系フィルム			
産業 マテリアル	エアバッグ用基布		エアバッグ用基布				
	スーパー繊維					高強力PE繊維	
	機能フィルター		エンジン用 キャビン用		溶剤回収装置、 バグフィルター		
ライフ サイエンス	バイオ					機能タンパク質	診断システム
	医薬						医薬製造受託
	医用膜						人工腎臓用中空糸膜
	アクア膜				RO膜、上水膜		
				燃料電池膜			
				次世代分離材料			

本資料取扱い上のご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。